金岡新聞

12月号

日本ロマン飛行 (16)
―上寺山　餘慶寺―

奈良時代に報恩大師によって創建、平安時代に中興されたともいわれる古刹で、現在でも6つの子院が残っており、建ち並ぶ諸堂とあわせ県下屈指の大伽藍といえる。

餘慶寺は１２６０年余りの歴史を持つ寺院だけに、文化財の宝庫である。本堂は、室町時代に建立された国指定重要文化財で、三重塔は源平の乱世で焼失したとされるが、江戸末期に再建され県指定重要文化財になっている。寺宝では、薬師如来坐像と聖観世音菩薩立像が国指定重要文化財、十一面観音の立像が県指定重要文化財であり、特に薬師如来立像は中国地方を代表する傑作として全国から拝観の人が訪れる。毎年十月に行われる『寺宝展』で拝観できる。

また、境内に隣接して豊原北島神社があり、神仏習合の名残もうかがえる。

春の桜やヤマブキ、ツツジに始まり、初夏のアジサイやスイレン、ハスなどが目を楽しませてくれる。

十二月三十日と三十一日には境内が幻想的にライトアップされ、大晦日は除夜の鐘をききながら、お寺と神社の両方に初詣する『両詣り』も人気だという。

年末はカメラ片手に
身近な幻想スポットへ

薬師如来坐像

12月生まれの有名人

12/3 壇　蜜　34歳
12/5 観月ありさ 38歳
12/6 市川海老蔵 37歳
12/7 羽生結弦 20歳
12/8 稲垣吾郎 41歳
12/13 仲代達也 82歳
12/17 有森裕子 48歳
12/18 五代夏子 53歳
小　雪　38歳
12/22 国生さゆり 48歳
12/24 石原さとみ 28歳
12/29 錦織　圭 25歳

山佐産業㈱
瀬戸内プレカット
金岡事業所
岡山市東区金岡東町3-5-70
TEL 086-948-2053
FAX 086-948-0108

お浸しや、お鍋の定番
『水菜(京菜)』

ミズナはアブラナ科の野菜で、京都が原産といわれている。寒さに比較的強い性質から、特に野菜が不足しがちな冬場に収穫できるという事などもあり古くから関西では親しまれてきた野菜の一つである。葉の形からヒイラギナ(柊菜)と呼ばれたり、細い葉柄が千本(沢山)伸びることからセンスジナ(千筋菜)とも呼ばれる。また、京都で古くから作られてきたことからキョウナ(京菜)と呼ばれてもいる。

保存方法としては、濡れた新聞紙などでくるんで袋に入れて冷蔵庫に入れておく事。少なくとも乾燥を防ぐように袋に入れて冷蔵庫に。また、寝かせておくと上に伸びようという植物所以の働きで茎が曲がりやすく、またそれができない為に傷みも早くなるので、可能な限り立てて保存する。

ビタミンCが多く含まれ、風邪の予防や疲労回復、肌荒れに効果あり。緑黄色野菜らしく、豊富にβ-カロテンを含む。抗発ガン作用や免疫賦活作用で知られているが、その他にも体内でビタミンAに変換され、髪の健康維持や、視力維持、粘膜や皮膚の健康維持、そして喉や肺など呼吸器系統を守る働きがあるといわれている。カリウムやカルシウムを多く含むので、骨の健康維持に効果がある。マグネシウムや鉄、リンなどのミネラルも豊富である。

↑水菜(ミズナ)

壬生菜
(ミブナ)→

違いは葉の形だけ

☆☆　ありがとうございました！　☆☆

2015年も残すところあと僅かとなりました。
皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
お陰様で、3月の合併から9ヶ月を迎えることができました。
激動期にも格別のご愛顧を賜りましたこと、真に有難く、厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。
これからも感謝の心を忘れず、皆さまの「安心・安全」に繋がる唯一無二の志事として、誠心誠意精進して参ります。
今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。